

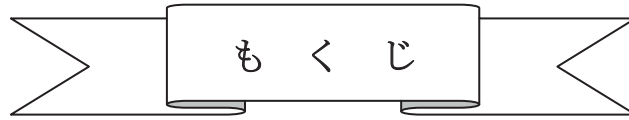
甲南大学経済学部

入門のしおり

2014



甲南大学経済学会



| | |
|------------------------------------|----|
| まえがき | 1 |
| I 経済学部へようこそ | 3 |
| 甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ 経済学部長 高龍秀 | 5 |
| 各経済学部教員（五十音順） | 7 |
| II 経済学部の先生方に質問（五十音順） | 31 |
| III 新入生へのメッセージ | 81 |
| 「大学に通うという選択」 安藤貴史 | 83 |
| IV 新入生のみなさんへ | 85 |
| 甲南大学経済学会について | 87 |
| V 甲南大学経済学会会則 | 91 |
| 総会規程・評議員会規程 | 93 |
| 卒業生会員細則 | 94 |

まえがき

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この小冊子は、みなさんが経済学を学んでいく実際のある場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないと思いますので、この冊子を読んでぜひ参考にさせていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、経済学部の先生方に様々な視点から、新入生の皆さんへメッセージをいただいています。先生ならではの経験から得た言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になればと思います。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、経済学部の先生方から、素朴な質問に対する答えをいただいています。このページを見ることで、甲南大学経済学部の先生がどんな方々であるのかということが少しはわかるのではないのでしょうか。「あの先生がこんな回答をしている」といった意外な発見ができるかもしれませんし、講義やゼミナールを選択する際の参考になるかもしれません。

『Ⅲ 新入生へのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅳ 新入生のみなさんへ』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織はまだ何のことかわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2014年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同

経済学部へようこそ！

| | | | |
|---------|----|---------|----|
| 高 龍秀先生 | 5 | 春日 教測先生 | 18 |
| 青木 浩治先生 | 7 | 小林 均先生 | 19 |
| 足立 泰美先生 | 8 | 小山 直樹先生 | 20 |
| 石川 路子先生 | 9 | 杉村 芳美先生 | 21 |
| 石田 功先生 | 10 | 柘植 隆宏先生 | 22 |
| 市野 泰和先生 | 11 | 筒井 義郎先生 | 23 |
| 稲田 義久先生 | 12 | 寺尾 健先生 | 24 |
| 岩崎 晃先生 | 13 | 中島 清貴先生 | 25 |
| 上島 康弘先生 | 14 | 林 健太先生 | 26 |
| 永廣 顕先生 | 15 | 平井 健介先生 | 27 |
| 岡田 元浩先生 | 16 | 藤本 建夫先生 | 28 |
| 奥田 敬先生 | 17 | 森 剛志先生 | 29 |



甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ

経済学部長 高 龍秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。新入生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢や希望をもっとふくらましてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに興味を持ってほしいと思います。日本では 2011 年に大震災と原発事故があり、その後もなかなかデフレ・不況から抜け出せない状況にありました。2012 年末に安倍政権が発足し、「アベノミクス」の名の下に日本経済をより良くするための政策がいろいろと議論され実行されています。どのような経済政策を行えばこのデフレを克服することができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本の景気は良くなっているのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から 1 歩ずつ学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めないでじっくり考えること」ことが大切です。甲南大学経済学部のカリキュラムでは、みなさんの学びを支えるいくつかの特長があります。まず第 1 は、「6 つの科目群(グループ)」において基礎から中級・上級へとステップ・アップできる専門科目を設けていることです。経済学部の専門科目は、理論・情報、財政・金融、公共経済、国際経済、産業・企業、歴史・思想という「6 つの科目群(グループ)」に分かれており、みなさんがそれぞれの科目群において、基礎から中級・上級へとステップ・アップできる科目メニューを設けています。みなさんは自分の興味や深めたい分野に応じて、経済について体系的に勉強することができるようになるでしょう。

これまでの大学受験勉強は、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものも多くあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に「深く考えていく勉強」をしなければなりません。また実際の社会では1人で考えるのではなく、仲間と意見交換して1つの解決策を深めてまとめていくことや、その解決策を他の人に説明し説得する能力が必要になります。経済学部のカリキュラムの第2の特徴は、小人数の学生参加型の「ゼミ」を4年間通じて履修できることです。みなさんは4年間ゼミで学ぶことで「グループで深く考える能力」や自分たちの意見を他の人に説明するプレゼンテーション能力を高めることができます。

みなさんが入学した直後から始まる「基礎ゼミⅠ」では、各クラスを経済学部スタッフが、毎週、輪番（ローテーション）で担当します。みなさんは入学直後から多くの経済学部教員と顔見知りになり、身近に接することができ、さまざまな知的刺激を受けることになると思います。1年後期には「基礎ゼミⅡ」が開講され、2年後期からの「ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ」では、みなさんは卒業まで同じ経済学部教員の指導のもとで、自らの興味や関心のある専門分野について深く学ぶこととなります。多くのゼミでは、毎年12月に開催されるインナーゼミナール大会（ゼミ対抗の研究プレゼン・討論会）に向けて、学生たちが意欲的に、熱気をみなぎらせて研究に取り組んでいます。このインナーゼミナール大会（通称「インゼミ」）は、経済学部最大の伝統的行事であり、昨年度まで43年間開催されています。

みなさんはこれから経済学部で、経済について体系的に学び、「グループで深く考えていく」能力、自分たちの意見をプレゼンテーションする能力を高めていくことになると思います。経済学部のすべての教員はみなさんのこの学びをしっかりサポートするつもりです。新入生のみなさんが甲南大学経済学部で有意義な4年間を過ごし、大きく成長することを心から願っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

青木 浩治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような抱負を持って入学されましたか？あれもこれもとやりたいこと一杯の人から、まだ何も決めていない人まで様々でしょう。しかし、まずやるべきことは友達作り。この作業に失敗すると、大学4年間はずまらない時間となり、大学生活不適應者に陥ってしまうと言っても過言ではありません。

第二に強調したいことは、大学4年間はあっという間に過ぎてしまうということです。このことはみなさんの先輩が異口同音に言っていること。言い換えれば、大学生活はとても楽しく、おそらく人生において最も有意義な期間だということです。そのための仕掛けが大学にはあちこちに用意されています。なにもせずボーっと4年間を過ごした人は社会に入る手前でイエロー・カード、場合によってはレッド・カードが突き付けられます（その意味はやがて分かってきます）。意識して「大学でこんなことした、あんなことした」と胸を張って言えることを見つけて下さい。ただし、アルバイトはほどほどに……。

第三に、当然のことなのですが、自分の規律付けを怠らないようにしましょう。これまで親や先生の言われる通りしていればよかった時期はもうおしまい。大学では所定単位の修得以外に学生に課される制約は特にありません。その意味で自由なのですが、同時に選択の結果に対する責任を強く要求されます。自由には責任がついて回ることを意識しましょう。その訓練をする場が大学生活です。そして第四に、社会常識を付けること。犯罪行為は論外として、やってよいこととそうでないことのケジメを付けるようにしましょう（喫煙マナーがその一例）。

いずれにせよ、皆さんの4年間に有意義であることを切に願っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

足立 泰美

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん4年間の大学生活、これまでの学業生活とは異なる点が幾つもあります。その1つがスケジュール管理です。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった時間割りが既に組まれた小学校、中学校そして高校生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、最低でもどの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのがよいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位のとりやすい科目を調べ、選択し、そして自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割を踏まえて、アルバイトや多様なサークル活動などのスケジュールを入れていきます。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から就職に視点を向ける時には、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となります。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の杓子定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さんが、この4年間で有意義に過ごし成長することを切に願っています。

宝物の集め方

石川 路子

皆さんにとって、宝物は何ですか？「小さい頃、サンタさんからもらったぬいぐるみ」「彼氏からもらったネックレス」「楽しく過ごした友人たち」心に残る宝物はいろいろあるかもしれませんね。もちろん、大学生活の中でもたくさんの「宝物」は落ちています。ただその宝物を見つけられるかは、皆さん次第。その宝物の中でも、私は皆さんに「他人の気持ちを理解する心」という宝物をぜひ見つけてほしいと思います。

経済学では、社会を分析するツールを学んでいきます。人々によって構成されるのが社会。すなわち経済では、人々がどんな行動をするのか、それによって社会がどう動くのかを分析していきます。このように考えると、実は「他人の気持ちを理解する心」は、経済学の基礎として非常に重要。人の気持ちがわかっていないと、世の中の動きは読めません。セレクトショップを成功させるためのキーワードは「自分の好きなものを売る」のではなく「他人が欲しがるものを売る」こと。相手の気持ちを知ることは、ビジネスにも欠かせないキーワードなのです。

では「人の気持ちを理解する」には経済学だけで十分でしょうか。もちろんそうではないですよ。ではどうすればいいのでしょうか。それは、より多くの人と話すこと。大学には、国内外を含め様々な地域から学生さんが集まってきます。自分とは違う国や地域の友だちと話すだけで、自分の視野が広がります。また先輩、後輩など学年が一つ違うだけで、まったく違う考え方の持ち主に出会えるかもしれません。さらに、先生やバイト先の社員さんなど、自分とは年代や立場の異なる人はまた新たな考え方を教えてくれるでしょう。

自分とは異なる考え方の持ち主は、本当に宝物です。宝物を一つずつ集めるように、違った考え方に触れてみてください。きっとそれらは「他人の気持ちを理解する心」というより大きな宝物になるはず。皆さんがこれからの大学生活の中でより多くの宝物を手に入れて、心豊かな人生が送れますように。

ブラック＝ショールズ方程式

石田 功

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。さっそくですが、私の専門分野の金融のひとつの例についてご紹介します。それによって、経済学における数学の役割について知ってもらえるかなと思うからです。

次の方程式はブラック＝ショールズ偏微分方程式と呼ばれる金融市場の発展に大きく貢献した数式で、『世界を変えた 17 の方程式』（イアン・スチュアート著）という本でも、ピタゴラスの定理やニュートンやアインシュタインが導いた数式と並んで人類史上最も重要な数式のひとつとして紹介されています。（経済学部への授業には出てこないのご心配なく！）

$$rC = \frac{\partial C}{\partial t} + \frac{1}{2}\sigma^2 S^2 \frac{\partial^2 C}{\partial S^2} + rS \frac{\partial C}{\partial S}$$

具体的には、上の式を C について解くと、オプションと呼ばれる重要な金融商品の理論価格が求まります。「これって経済学？」と誰もが思うことでしょう。確かに、上式を発展させる「金融工学」の分野では高度な数学が不可欠ですし、それを応用する金融実務の世界も理工系大学院出身者が多くを占めています。けれども、やはり、上式の導出の考え方の中核の部分はまぎれもなく経済学的洞察で、数学はそれを展開する道具です。

問題を「果物詰め合わせの価格は理論的にいくら？」に置き換えてみましょう。これに正面から答えようとする、需要・供給や市場均衡（皆さんもこれから学習）について考えることになり、具体的に何円になるかを求めることは難しいです。では、詰め合わせにはリンゴ 5 個（1 個 200 円）、ミカン 10 個（1 個 100 円）入っていることが分かれば？割引がなければ 2000 円、簡単ですね。難攻不落だったオプションの理論価格導出の問題も、「オプションは市場で値が付いている関連金融商品（具体的には株式など）の組み合わせと同等だ」と見抜いた人たちが解決しました。それを数式で表現すれば上式になり、後は数学の問題として解くだけです。このように、経済学は、難しそうでいて肝心な部分は簡明な洞察である場合が多いのです。そういう部分こそ皆さんに学んで欲しいと考えています。

僕らはどんどんダメになる？

市野 泰和

2006年12月12日、読売新聞から配信された記事をちょっとだけ引用します。

「各地の公立図書館で、雑誌などから写真や記事を切り取ったり、専門書に蛍光ペンで線を引いたりするなど、図書を傷つける行為が増加している。(中略)公共の財産を傷つけてはいけないという最低限のルールを破る行為の横行に、図書館側は『社会全体のモラル低下の表れでは』とため息をついている。」

この記事で図書館の人たちが嘆くように、社会全体のモラルは、低下してきているのでしょうか。時代が進むほど、人々のモラルは低くなるのでしょうか。って、そうだとすると、昔の人は、今よりもずっと徳が高かったということなのかな？縄文時代の人とか。土器？どんどんあげちゃうよ、いくらでも持ってっちゃっていいよ、なんてね。まあ、縄文時代の話はさておき、僕らは、どんどんダメな人になっていっているのでしょうか。そうなら、それはとても悲しいことですよ？

なので、ここはひとつ、そうじゃないかも、と考えてみましょう。社会全体のモラルはまったく低下していない、と想定してみましょう。それで、「図書を傷つける行為が増加している」という現象を説明することはできないでしょうか。

例えばこんなの。「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守れない人は、残念ながら、いつの時代も人口の一定割合はいます。もしかしたら、最近の図書館は、昔の図書館よりも、そういう人々を図書館に來さしてしまうようなものになってしまっているのかもしれない。あるいは、図書館に來る人々のタイプは昔と同じとしても、最近の図書館では、昔の図書館よりも、「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守らせるようなしくみが、うまく機能していないのかもしれない。つまり、変わったのは人々のモラルではなく図書館だったとしても、「図書を傷つける行為が増加している」という現象は説明可能なのです。

人々の性質が変わったから、という理由で、人々の行動が変わったことを説明するのは、とにかく簡単です。そんなの、いつでもできます。だからこそ、そういう説明は、できる限りしないでおきたいのです。最後の手段にとっておきたいのです。人々の性質ではなく、人々を取り囲むもの、環境で、何か変わったものはないかを考えてみましょう。それで、人々の行動の変化を説明できないでしょうか。正しいか間違っているかはさておき、つねに、人の内側ではなく、人の外側に、行動の変化の理由を求めること。これが、経済学の基本的な態度です。

日本の元気をリードする関西の成長戦略

稲田 義久

関西経済は高い成長ポテンシャルを持っているとずっといわれ続けてきたが、これまで結果が伴ってこなかった。実際、この20年の関西の実質域内総生産(GRP)の成長率を見ると、多くの年で実質国内総生産(GDP)の伸び以下であった。阪神球団でもこの間数回優勝しているではないか。たしかに、関西経済低迷のブレークスルーが期待された時期がほんの数年前にもあったが、その夢は破れ、次の牽引産業を模索する苦境の時期といえよう。結果、関西GRPの全国シェアはかつて20%を優に超えていたが、現在は16%と低迷している。

(日本の元気をリードする)関西の成長戦略を考える視点として、以下の4点が重要と考えている。(1)域内産業の高付加価値化に向けた「ブランド化」の促進が期待できるか、(2)ICT(Information & Communication Technology)の効果的活用による(官民の)意思決定の迅速化が図られているか、(3)企業の海外市場での展開を担う人材(human capital)の強化が図られているか、(4)成長するアジア諸国の所得の取り込みが図られているか、である。

日本の元気をリードするためには、以上の4つの視点を踏まえ、イノベーションに向けて関西のナレッジと挑戦が重要である。一つの方向は、持続的なイノベーションを促進する特区構想である。二つ目は、ツーリズム(観光)戦略が重要となろう。ツーリズム・コミュニティ構想の検討や東京五輪のスピツオーバーをどのように呼び込むかが重要ポイントとなろう。第三の方向性として、留学生・外国人の呼び込みによる地域発展戦略が重要となる。

久しい関西経済の低迷からいかに脱出するか。解はひとえに新たな関西の成長牽引産業の創出といえよう。みなさんはどんな産業を想起し、また起業を考えるだろうか。

身近な現象からの経済学入門

岩崎 晃

経済学部に入學されたばかりの皆さんは、経済学という学問を分かりにくいと感じているかもしれませんね。とりわけ「ミクロ経済学入門」や「マクロ経済学入門」といった理論の講義では、理論モデルの単純明快さと実際の経済のかかわりに疑問をおもちかもしれません。

もう大昔のことなので正確に出所を思い出せないのですが、学部学生のころに読んだある歴史家の論文の一節に、“Economists play with blocks”という経済学者の悪口がありました。本来なら多種多様な要因を考慮しなければいけない経済分析としては、当時のミクロ経済学の分析方法はあまりに単純で、歴史家にとっては経済学者はオモチャのような理論で実際の経済を分析しようとしていると思えたのでしょうか。現在の皆さんも、もしかしたら、この歴史家と同じ印象を受けているかもしれませんね。

ただ、私たちの周りには比較的簡単な経済の絡んだ問題がたくさんちらばっています。実際、皆さん自身の行動そのものが、日本の経済の微小な一部を形成しています。身の回りの出来事を経済学の本で見ると心がかげれば、単純に見えた経済学の意外なパワフルさに目を見張り、その魅力に魅惑されるのではないのでしょうか。

昨年は日本の経済になかなか大きな変動が見られた一年でしたね。安倍政権の発足とともに、日銀の手でそれまでとは異次元の金融政策が実施に移され、為替レートが久方ぶりに大きく円安の方向に振れました。主要国間の金利格差が、大きな資金移動を引き起こした結果でした。円安は輸出関連企業の採算を好転させるとともに、日本の株式市場などに活況をもたらしましたね。運用難に苦しんでいた生保や年金基金なども、含み損を一掃するところまで業績を改善しました。企業業績の改善はやがて賃金にも影響を及ぼすことになるでしょう。でも、もう一方で、円安はこれから輸入資材の高騰をもたらす、日本の物価水準を引き上げることになるでしょう・・・。茶飲み話に経済の話題も悪くないですね。

Nothing ventured, nothing gained.
(思い切って何かをしなければ、何も得られない。)

上島 康弘

通勤の車窓から海を眺めると、オーストラリアでの日々が心に浮かぶ。2011年の9月から一年間、シドニー大学に留学した。到着後、大学近くの宿舎に入り荷物をほどくと、突然、不安障害におそわれた。ここで一人きりで暮らせるだろうかと思うと鼓動が高鳴り、「明日、荷物をまとめて帰ろう」とつぶやいた。数日間、「明日帰ろう」と口に出してその気持ちを抑えた。

不安はそのうちに消えた。スチュアート（学科長）は、毎日のようにランチに誘ってくれた。同僚のビルやジル、ダミアンも誘って、ジョークをまじえて移民や炭素税の問題、大学改革などについて話した。油断すると、突然「ヤスはどう思う？」と聞くのでハラハラした。英語をとつとつと話す私は、『千と千尋の神隠し』の「カオナシ」のようだった。にもかかわらず、みんなが仲間に入れてくれた。

意外なほど、同僚の親切に恵まれた。スーザンといっしょに、入植時代の歴史が学べる“ロックス・ゴースト・ツアー”に参加した。マイクは生後、数週間の娘フランキーを研究室に連れてきた。スヤスヤと眠る赤ちゃんの背中を撫ぜると、神聖な気持ちになった。フランクは、国立公園の近くの別荘に招待してくれた。雨のなかを傘もささずに、私をブッシュ・ウォークに連れだした。木々のしたで、葉に水滴を乗せたシダが生き生きしていた。

帰国する日に、クージー・ビーチに行った。どうしても一度、オーストラリアの海で泳ぎたかった。思った以上に波が荒くて、水着が脱げそうになった。ビーチに寝そべり全身に陽を浴びると自由を感じた。その後、サーキュラー・キーで思い出にシドニーの絵を買った。オペラ・ハウスやハーバー・ブリッジの写真を撮った。時間の許すかぎり、シドニー湾の夜景を眺めた。空港では帰りたくなくて、大泣きするかもしれないと思った。

航空機が離陸すると、思わず「ありがとう、シドニー」と口から出た。機内食で「鮭の塩焼き」が出ると、自然にほほ笑んだ。シドニーではたくさんの友人ができた。自分のパーソナリティと能力に、少しだけ自信がもてた。『千と千尋…』の歌詞のように、いまは、輝くものを心のなかに見つけることができる。

「経済を学ぶ」ということ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済について学んでいくこととなりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代では、家計（個人）が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入して消費し、生活しています。この状況を「市場経済の成立」と言いますが、市場経済は常にうまく機能するわけではなく、程度の差こそあれ混乱が生じる場合があります。そこで、政府が家計と企業をまとめて市場経済を統治しています（この政府の活動を“財政”と呼びます）。このように、経済とは、人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・カネ・モノの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強しておくことが必要となるのです。それは、これまでの受験勉強のように正解とされていることを暗記するだけではなく、自分が置かれている現在の状況と自分が進もうとする将来の目標に即して、自分にとって何が正解であるのかを追究し続けるということなのです。

もちろん、大学生活においては、勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティア活動やインターンシップ、さらには就職活動なども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことがたくさんあるのも事実です。しかし、経済について体系的でかつ内容の深い勉強をする機会を大学以外で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強を思う存分できるのは大学での4年間だけなのです。しかも、その4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、これから有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

「学生生活の最終段階に達したみなさんへ」

岡田 元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。さて、おそらくみなさんの大半にとって「甲南大学経済学部卒業」が最終学歴になることでしょう。つまり、甲南大学での学生生活を完了すれば、みなさんは社会人として巣立っていくということです。ひとたび社会人としての生活が始まれば、みなさんを待ち受けているのは、俗に世間の荒波と呼ばれる厳しい現実です。社会人になったからといって、ご家族をはじめ、それまで皆さんを守り育ててきた人々の支えがいきなり断ち切られるわけではありません。しかし遅かれ早かれみなさんは、矛盾や悲痛、その他あらゆる困難に満ちた世の中を自らの力によって生き抜かねばならぬこととなります。だからといって、私たちが自分1人の力だけで生きることは不可能です。そこで肝腎なのは、強い自立心と正しい認識に立つ他者との協同精神です。甲南大学での学生生活でみなさんに身につけてほしいと思うもの、というよりも身につけるべきものは、つまるところ以上の点に尽きる、というのが私の思いであり、この観点から実際にみなさんと接するよう努めています。私がこう記すと、社会人としての準備が大事だというのであれば、何より就職だ、学業より就職準備優先で1年生時から臨むべきだ、と解釈する人がいるかもしれません。しかし、それはあたかも、もろい土台の上に家を築くようなもので、一時的にはうまくいっても、やがてはくじかれる破目になるでしょう。就職を含むみなさんの将来のためにも、まずは日々の学業を地道に修め、さらには課外活動をはじめ大学時代ならではの体験に打ち込んでください。

講義の単価？—エレガントな答案を求む—

奥田 敬

【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算出せよ。
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の生活費や、働いていれば得られた収入は度外視する。

【解法1】

全く無駄なく、最小費用最大便益(?)で卒業を目指す。
卒業所要単位数は128単位であるから、
1単位あたりの単価は、 $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期15週で2単位なので、
 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\cdots$

答え 約4,200円

【解法2】

もったいないから(単位制限とは関係なく)聴講しまくる。
1週間30コマならば通年で
 $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\cdots$

答え 約1,100円

【解法3】

4年分の在籍料と割り切り、出席は(留年も)気にしない。
1日あたりの在籍料は、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\cdots$ (円)
90分あたりに換算すると、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\cdots$

答え 約170円

(さて、あなたはどれを選びますか？ 別解があればお知らせください。)

「常識」を疑ってみよう

春日 教測

私が高校生の頃を振り返ってみると、教科書はほぼ正しいもので、特に疑うこともなく文章や数式を理解し、また史実や言語を暗記し忠実に再現することが、学校での主要な課題だったような気がします。でも注意してみると、実際の世の中には不思議な記述や「常識」と異なる現象が多いことに気がつきます。

例えばサッカーの試合で「エースストライカーが点を入れた試合は負けない」という『神話』が紹介されることがあります。ですが、誰の得点であれサッカーの試合での1点は非常に大きい意味を持ちますから、その時点で既に1点獲得しているチームの勝率が高くなるのは、それほど不思議なことではないのではないのでしょうか。またある医療ドラマでは、急患死亡率0%の病院Aと50%の病院Bあり、実際にその病院を知る患者が信頼しているのは病院Bだという事例が描かれていました。一見すると不思議な現象ですが、実は病院Bではどんな患者でも最後まで救命に尽力する姿勢なのに対し、病院Aでは重症度が高く死亡率の高そうな患者の受け入れを徹底的に拒否しているためだという内容を見て、視聴者は納得することになります。大人気漫画ワンピースでは、時に「行き過ぎた正義」を行使する赤犬元帥率いる海軍と、破天荒ですが世間のしがらみにとらわれず自分の感情に素直に行動するルフィ率いる「善良な」海賊団が描かれていますが、こうした「常識」とのギャップも、大きな魅力の一つになっていると言えるでしょう。

経済学に代表される社会科学を学ぶ者として、このような「常識」を疑う目を持ち、常にいろいろな解釈や別の捉え方を考えてみるのが、最も大切なことだと個人的には考えています。いわゆる「ツッコミの文化」を有する関西圏で生活する我々は、経済学、ひいては社会科学全般に携わるのに向いているのかもしれませんがね。皆さんも、周囲の出来事に絶えずツッコミを入れる習慣を、是非身につけてください。ただやりすぎると疎まれるので、くれぐれも周囲の空気を読むことを忘れずに！

経済学部で学び、経済学部で教える

小林 均

大学は経済学部で、大学院も経済学研究科でした。なぜ経済学部へ進学したか、と言えば、「経済がすべての基本という考え方」がおぼろげにあったと思います。それは、小学校の頃、高度成長が始まり、高校1年の年、東京でオリンピックが開催され、それ以前の生活との違いを体感していた、からだと思います。高校に進学し、「政経」「倫理社会」の授業で、「経済学」の言葉の意味を知ったことも、重要な要因と考えます。

「経世済民」「経国済民」、すなわち、「世の中を治め、人民の苦しみを救う」、「国を経営し(治め)、人民の苦しみを救う」に魅力を感じたからです。皆さんは、経済学部に入學し、マクロ経済学、ミクロ経済学を学びますが、経済学の歴史や私の大学時代を振り返ると、いまでは一般的な「マクロ」「ミクロ」という表現も、経済学部の学生時代は、まだポピュラーではなかったです。マクロ経済は、所得分析とか、国民所得分析、巨視的経済学、ミクロ経済学は価格理論、価格分析、微視的経済学、と呼ばれ、2009年暮れ逝った、サミュエルソンの「経済学」が双方を扱う、入門的な必須な教科書とされていました。授業では、マクロ経済学の経済成長論が主流で、高度成長とその原因・帰結・代償(公害)を論じる日本経済論が盛んで、資源配分を論じるミクロ経済、厚生経済学、経済政策論はやや後ろに控え、その後の隆盛を待っている時代でした。3年からの専門ゼミは財政の先生で、ゼミではエドウィンキャナン版の「国富論」を読みました。卒論は「社会と個人」というテーマを先生に伝えたところ、結果的に「道徳情操論」を読んでいました。

改めて、経済学とは何か、と問われれば、「多くの人が幸せになること、そのための制度は何か、を考える学問」というふうに捉えています。経済全体の動きを理解することはもとより、「効率性」と「公平性」という判断基準、「費用」と「便益」との関係、といった基本的な視点から、物事を考察する常識的な学問で、この常識に基づいて判断すれば、それほど誤った結果にならないし、この常識で対応できない対象は、別の判断のための道具を準備すればよいと考えています。

『経済学の学び方 ” As you like it” 』

小山 直樹

経済学という学問は、理論(theory)、政策(policy)、歴史(history)の三本柱から成り立っています。

私が担当する統計入門は、すべての1年次生が必ず履修する科目です。統計学は、経済学の分野では、経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側（供給サイド）が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。

つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に授業に出て学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経済学を学ぶ意義』を確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したので、キャンパスライフを十分に楽しんでください。

新書をバッグに入れて

杉村 芳美

みなさんには読書の習慣がありますか。ある新聞社の調査によると、「1ヶ月に何冊本を読みますか」という問いに、「読まない」と答える人の割合が、50%を超えるようになっていました。この割合をみなさんは高いと思いますか、それとも低いと感じますか。

私も、ゼミがスタートするとき、学生たちに同じ質問をしています。残念ながら、「読まない」という答えの割合は、うへの数字よりもかなり高くなっています。本を読む習慣がないと答えた学生に「いつごろから読まなくなった？」と尋ねると、「中学生くらいから」などの答えが返ってきます。なかには、「生まれつき」という人もいました（子どもの頃に、絵本を読んでもらったことを思い出そう！）。「なぜ読まなくなったのか」を尋ねると、「部活が忙しくなって」とか、「ほかにやることがあるから」などの理由があがります。

「大学生なんだから本を読むのは当然」といった野暮な言い方をするつもりはありません。「読書では時間と空間をこえてさまざまな英知と出会うことができる」とか、「自ら考え想像し思いをめぐらす時間をもてる」といった効能を言うつもりもありません。

最も伝えたいのは、生活のなかで読書の楽しみをもたないのはもったいないということです。こう言うと、ほかに楽しいことはいくらでもありませんという答えがすぐに返ってきそうです。しかし、とにかく読んでみてごらん面白いから、とだけ言っておきます。

読書を楽しいものにするコツは、ただ一つ。面白い本を読むことです。手始めに、本屋にならんでいる膨大な「新書」のなかから一冊を選んでみてください。きっと自分の関心や興味に引っかかってくる面白い本があるはずです。将来の進路を考えるうえでヒントになる本もあると思います。

バッグにはいつも新書が入っている、そんな習慣をつくってください。

「環境経済学への招待」

柘植 隆宏

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ここでは、自己紹介を兼ねて、私の専門分野である環境経済学についてご紹介します。

環境経済学とは、その名の通り、環境問題を経済学の観点から考える分野です。これからみなさんが勉強される経済学の分析手法を使って、環境問題の原因を探ったり、有効な対策を考えたりします。

経済活動と環境問題は密接に関連しています。私たちは、モノを作るための原材料（例えば石油など）を環境からとってきます。そして、それを使ってモノを作り、消費します。しかし、生産の過程では工場から排煙や排水を出しますし、流通の過程では、運搬用の自動車から排気ガスを出します。消費した後には、廃棄物を環境に排出します。つまり、私たちが行っている経済活動が、資源の枯渇、環境汚染、廃棄物の発生といった環境問題の原因となっているのです。

これまでの経済学よりも分析対象を少し広げて、経済活動を行うために必要となる資源の利用や、経済活動に伴う汚染物質などの排出まで含めて考えるのが、環境経済学です。

経済活動と環境の関係を理解することで、どのようにすれば環境問題の発生を抑えることができるかについても考えることができます。例えば、汚染物質の排出に対して罰金を科したり、汚染物質の排出を減らすための対策に対して補助金を出したりすることなどが考えられます。汚染物質を排出している工場は、汚染物質を出すことでお金を払わなければならないなったり、汚染物質を出さないようにすることでお金がもらえるようになったりしますので、なるべく汚染物質を出さない努力をしましょう。このように、経済学の発想を使うと有効な対策を提案できる場合があります。

残念なことに、環境問題はますます多様化し、深刻化しています。また、学問としての環境経済学はとても新しい分野です。環境経済学には、未解決の問題がたくさんあります。みなさん、ぜひ一緒に環境経済学を勉強しましょう。

大学の勉強は面白いよ！

筒井 義郎

みなさん、ご入学おめでとうございます。私にとっては、もうはるか昔の出来事になりましたが、今でも、長くつらかった高校3年生の受験勉強と、合格し入学した時の嬉しさは覚えています。私は、受験戦争では敗者で、200名に満たない学年で3年生の間に100番以上も順位を落としてしまいました。志望校もそれに合わせて変えざるを得ず、なんとか引っかけたというのが実情でした。だからと言うものではありませんが(?)、受験勉強には批判的です。あんな単調でつまらないことを一日の大半やっていけることが優れたことでもなんでもない、というのが持論です。

それに比べると、大学で学ぶことは格段に面白いこと、請け合いです。これまで数千年にわたって、人間が積み上げてきた科学・学問の体系ですから、いくら学んでも底に達しない奥行きをもっているのは当然でしょう。とくに、経済学は一大体系ができていて、しっかりとした基礎から、多方面の応用まで一貫した論理で理解することができます。ほかに比べると若い学問ではありますが、どんどん発展を遂げ、現在も華々しく発展している学び甲斐のある分野です。ここ数十年では、人々が合理的であるという前提で、満足度を最大にするように行動するという定式化を用いることによって、多くの事実や現象を説明できることを示しました。人々の行動だけでなく、社会全体の動きを分析するいわゆるマクロ経済学も、この定式化で記述するのが、最近では標準的になってきています。経済行動だけでなく、結婚や離婚や犯罪といったいろいろな行動まで、経済分析の枠組みで説明できるようになっています。さらに、最近では、「合理性の仮定」をゆるめて、人々がどのように非合理的であるかを究明し、それによって、経済理論をどのように修正しなければならないかを追究する「行動経済学」という分野も展開されつつあります。

経済学部に入学することは、皆さんにとって本当に幸運なことだと思います。この経済学を力いっぱい学んでみませんか。私たちが手助けします。

解脱／解説

てら お たける
寺尾 建

2014年4月、甲南大学経済学部に入學したXさんは、神戸市東灘区で生まれ育ちました。文字通り、地元の大学に通うことになったわけです。

入學してからしばらくの間は、どの建物のどの階のどの教室でどの授業が行われるのかについて、「その時刻になったら、考えなくても足が勝手にその教室に向かう」というわけにはいきません（でも、一カ月もすれば、ほとんどの人がそうなります。なので、安心して下さいね）。

ほどなく、Xさんのことを“Yちゃん”のようなニックネームで呼ぶ人も出てくることだと思いますが、いずれにしても、Xさんは、教室にいるときには、ただのXさんです。

Xさんは、教室を出ると——「経済学部のXさん」になります。
Xさんは、大学を出ると——「甲南大学のXさん」になります。
Xさんは、東灘区を出ると——「東灘区のXさん」になります。
Xさんは、神戸市を出ると——「神戸市のXさん」になります。
Xさんは、兵庫県を出ると——「兵庫県のXさん」になります。
Xさんは、日本を出ると——「日本のXさん」になります。
Xさんは、アジアを出ると——「アジアのXさん」になります。

このように、どんどん“外”に出ていくことによって「〇〇のXさん」の「〇〇」のところが変わっていくのは、“外”に出るたびに、そこでつながらる人が変わっていくからです。仏教では、このことを、「六道輪廻」から離れるという意味で「解脱」といいます——という話を、3年前に、あるインド人から教えてもらいました。

いまから4年後の2018年3月、Xさんは、甲南大学経済学部を卒業します。大学を出ることになるので、そのとき以降はずっと、Xさんは、「甲南大学のXさん」になります。

甲南大学の創設者である平生鈞三郎先生は、「世界に通用する紳士・淑女たれ」とおっしゃっています。「世界のXさん」となるには、世界の“外”に出るほどの「解脱」が必要になるということなのだと思います。

何かに『なる=become』ということ

中島 清貴

本当に何かを実現したければ、
眼前にある様々な『可能性』を徹底的に切り、
ひとつの『可能性』を突き詰めなさい。

人でありたければ、

切られてしまった可能性に『愛惜の念』をもっていなさい。

学生時代の恩師の言葉です。僕は経済学者としてメシを食べています。別の職業についていたらどうなっていたかなあ、と想うことは今でもよくありますが、とにかく今は経済学者として『生かされて』います。

経済学と言っても分野は広く、ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、金融論、財政学、労働経済学、環境経済学、経済史、経済学史など数え上げればきりがありません。

僕が経済学者として『生かされている』ということは、とりもなおさず僕には専門分野があるということです（ちなみに、僕の専門分野は金融論です）。

つまり、経済学者として『生かされている』ことと引き換えに、僕は自分の専門分野以外の分野を、好むと好まざるとに関わらず切ってしまうということになります。経済学者以外の職業の可能性を切り、専門分野に閉じこもりながらその可能性を徹底的に突き詰める努力をすることで、僕は経済学者として『生かされている』わけです。

一方、『経済学者としての可能性』を突き詰めるだけで、『他の可能性』に対する想いや配慮がなければ、僕には『人としての大事な何か』が根本的に欠けていると言わざるをえません。この世には、経済学や自分の専門分野以外にも想いを馳せるべき『様々な可能性』に満ち溢れているからです。

というわけで、甲南大学では、

授業の時間内は『頑固な経済学者』として、
授業の時間外は経済学以外の可能性に想いを馳せる
『気の高い人間』として、

皆さんにお会い出来ることを心から楽しみにしております。

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

皆さんが生まれ育ったこの 18 年の間に、世の中のあり方は大きく変わりました。具体的には、インターネットが普及したことで、コンピュータとインターネットが生活の中心となる、いわゆる「情報社会」へと突入したのです。

情報社会においては、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を使いこなし、いかに早く必要な情報にたどり着けるかが勝敗を分けることになります。情報を持つ人と持たない人、あるいはデジタル機器を使いこなせる人とそうでない人との間の格差はますます広がり、特に 3 年後の就職活動の際には、顕著な差となって現れることでしょう。だからこそ大学生の間に、最低限のスキルとマナーは身につけていただきたいと思います。

また、大学時代というのは、将来どの国でどのように生きていくのかについて、じっくりと時間をかけて考えられる貴重な時期でもあります。様々な情報がインターネットを介して手に入れられるようになりましたが、それでも実体験に勝る情報収集はありません。日本は便利で清潔で快適な国です。しかしながら、その素晴らしさが、この国に住み続けていると、なかなか実感しづらいものです。ぜひ海外留学制度等を利用し、大学生活 4 年の間の半年だけでも外国の空気に触れ、海の向こうから日本を眺めてみてください。きっと新たな発見があることでしょう。もしかしたら、日本の外で暮らす方が自分には合っていると感じることもあるかもしれませんよ。

最後になりますが、人生は楽しんだもの勝ちです。先行きの見えない時代だからこそ、自分が本当に好きなことや得意なことは何かをよく見極め、一人でも多くの方が、その才能を生かせる仕事に就けることを願ってやみません。いち早く己を知ること、それこそが情報社会を生きていく上での重要なキーワードだと確信しています。

「コネ入社」時代からの教訓

平井 健介

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。四年間の大学生活で新しいことに取り組もうと胸を膨らませていることでしょう。しかし、皆さんの多くは、三年後に直面するであろう就職活動に向けて、どのように学生生活を過ごすべきかについて、悩んでいるのではないのでしょうか。

皆さんを悩ませる、新卒一括採用という就職システムは、1920年代頃に普及しました。ただし、当時は、学校の校長や政財界の有力者が企業に対して学生を推薦し、学生は最終面接のみ、あるいは面接すら受けないという、「コネ入社」が広くおこなわれていました。甲南学園の創設者である平生鈆三郎も、多くの学生の就職や転職に助力した一人です。

しかし、「うらやましい!!」と思っははいけません。というのも、誰もが校長や有力者の推薦をもらえたわけではないからです。平生が残した膨大な日記には、平生が就職や転職の助力に難色を示すシーンが何度も登場します。なぜ平生は難色を示したのでしょうか。二つ紹介しましょう。

① 入社半年にして転職を希望する W 君の父親に向かって(1925. 12. 15)
「吾人の立身出世は事業其物にあらず、会社の大小にあらず、全く自己の智能、伎倆、誠意と忍耐とに在り、他力に依りて向上せんとする如きは思はざるの甚しきものなり」

② なかなか就職の決まらない I 君の学習姿勢について(1926. 8. 24)
「単に教授の講義を筆記し暗記して試験をパスせしのみにして、何等社会学又は社会政策に興味を有するにあらず、さりとして実業界に出で何業を以て身を立てんと固き決心あるにあらず。一言にしていへば、単に学士の資格を以て糊口せんといふ平凡なる考を以て大学に入りたるものにして、自分としては何等の定見も信念もなきが如し」

自己の能力で身を立てる、そのためにも社会の問題に関心を以て学習し、自らの意見を持てるようになる。学生が社会から求められる姿勢は、就職システムがどうなろうと、昔も今も変わらないのではないのでしょうか。

雑食性の学問のすすめ

藤本 建夫

私は健康と体力の維持をかねて小さな貸し農園でわずかばかりの野菜を育てている。種類は春夏野菜はトマト、きゅうり、なす、秋から春にかけては大根、たまねぎ、スナックエンドウ、昨年からはイチゴなど、定番中の定番ばかり。しかし肥料不足なのか、あるいは種まきや苗の植え付け時期が悪いのか、また世話が行き届かないために虫によく食い荒らされ、収穫は余り思わしくない。しかも同じものを作っていると連作の問題もある。しかし味のほうは、妻と二人の労働が投下された分だけ特別な、つまり主観的な付加価値がつき、うまいと納得している。それにとれとれの自然の香りは何とも言えない。

暮れから書斎の整理を始めた。というのも狭いにも関わらず、かなり適当に本を書架に詰め込み、さらに身体が不自由で高齢者に近づいているのでこの悪癖がさらに募って、今ではどこに置いたかわからなくなるケースが多くなった。それは大学の研究室でも同じである。息子夫婦が帰ってきているのを幸い、本の整理をしようということになった。捨てられる書物にはそれぞれ思い出があり、また何かに使うこともあるのではと頭をよぎることがあっても、かなりの本が廃棄の対象となった。専門のドイツ関連の書物についてはこれまでの研究と離れてしまいそうになるので、今回は決心がつかず、結局レンタル倉庫の片隅に収納されることになった。

今回本の整理をしながら、自分の研究史を振り返って見て思うのは、もっと自然の香りを出せなかったのかということである。もっと様々なことに知的貪欲さ、言わば知的雑食性が足りなかったようだ。専門という狭い畑でつつい連作を繰り返してきたようにも思う。グローバル化が急進展する現代、何もかもが複雑怪奇になってくるとその感がいっそう強まる。

もし今新生に返ることができれば、今抱いている忸怩たる思いをもってスタートラインに立ちたいものである。

経済学部生へ

森 剛志

ハングリーであれ！バカであれ！

若い時代は、「人生まだまだ長い」と思います。大学生になったばかりには、「大学4年間はなんと長いのだろう」と思うでしょう。でも、振り返ると、毎日すぐ過ぎ去ることがわかります。1年生の時間が100とすると、2年生は70くらい、3年生は50くらいで、4年生は20くらいの長さを感じられるでしょう。

大学一年生のときには、できるだけ多くの人と友人になり、仲間作りをして、勉強しやすい環境をつくるといいと思います。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。学生時代には多くのお金はありませんが、実はそれが幸せだったりします。お金があつて、親から買ってもらった車をみせびらかせて乗りまわっている学生もいるかもしれませんが、決してこのタイプの人が幸福とは限りません。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。しずかに読書して、知らない世界に思いをはせるとき。普段のなんでもない生活でも、幸せは数え切れなくあります。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを持ってください。そして少しの勇気と情熱を持てれば、さらによいです。私が甲南大学に来ておどろいたことは、ほとんどの空き時間をバイトで埋めている学生が大半だったということです。（それと携帯とテレビ漬けということ。）

彼らは、自分の大切な青春を時給1000円で売っているのです。かわいそうでした。バイトもいいですが、のんびりとした何もない時間を十分つくって、読書と友人や先生との会話をして大学生生活を満喫してください。何をしたらいいかわからないのですが、実はやれることはたくさんあります。これから2020年までは日本が絶好調の時代です。

みなさんはラッキーです。ですから、

ハングリーであれ！バカであれ！

経済学部の先生方に質問

(50音順)

| | | | |
|---------|----|---------|----|
| 青木 浩治先生 | 32 | 高 龍秀先生 | 56 |
| 足立 泰美先生 | 34 | 小林 均先生 | 58 |
| 石川 路子先生 | 36 | 小山 直樹先生 | 60 |
| 石田 功先生 | 38 | 杉村 芳美先生 | 62 |
| 市野 泰和先生 | 40 | 柘植 隆宏先生 | 64 |
| 稲田 義久先生 | 42 | 筒井 義郎先生 | 66 |
| 岩崎 晃先生 | 44 | 寺尾 健先生 | 68 |
| 上島 康弘先生 | 46 | 中島 清貴先生 | 70 |
| 永廣 顕先生 | 48 | 林 健太先生 | 72 |
| 岡田 元浩先生 | 50 | 平井 健介先生 | 74 |
| 奥田 敬先生 | 52 | 藤本 建夫先生 | 76 |
| 春日 教測先生 | 54 | 森 剛志先生 | 78 |

何でも聞いて

くれたまえ!





青木 浩治（あおき こうじ）

神戸大学経営学部卒

1. 先生の研究テーマは何ですか？

難しく表現すると現代の国際貿易と海外直接投資、および為替レートの理論・実証研究です。まっ、国際経済の何でも屋さんといったところでしょうか。過去 10 年間では躍進著しい中国に的を絞った地域研究も行ってきました。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

おもしろいと感じたからです。私の学生時代は現在とま逆で、経営学は全くの輸入学問。面白くとも何ともなく、経済学が光り輝いていた時代でした。ただ「あなたの会社は危ない」の先生は、とてもおしゃべり下手でしたが、面白い講義でしたね。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

文学青年からはほど遠い学生でしたから、あまり印象に残っていません。ただ、ケインズの一般理論は繰り返して読んだような記憶があります。とても難解で、あまり頭に残っていませんが、そのうちの第 12 章「長期期待の状態」だけは非常に印象的で、原書で繰り返し読みました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。
だいたい昔の話で、老境の域に達したせいかな、どうも?? よく遊び、よく学び、よく身体を動かしたことでしょうか。しんどいこともたくさんありましたが、ともかく楽しかったですね。
5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
ものすごいカルチャー・ショックを受けました。他の大学からの転職組だったので、おそらく最初は難しい授業をやったんでしょう。学生さんとの間のギャップにショック、ショック、ショック。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか?
さもない話ですが、睡眠の時間かな。それと晩酌のとき。老人趣味ですよ。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか?
その理由もお願いします。
難しい質問ですネ。誰とは言いませんが、歴史の授業は受けたいと思っています。理屈をこねる理論や政策論と異なり、歴史ってそれ自身面白いだけでなく、人間社会の深みを知ることができるように思えるからです。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
まずは仲間創り。これで大学生活のほとんどが決まります。



足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了

大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

保健、医療そして介護について国や地方の財政状況と家計の経済状況から分析しています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

金銭がなくても一定のレベルの医療が受けられる日本。その国の医療の現場において、医療の通念と社会情勢との隔たりを垣間見て、経済的な考えが求められていると感じたのが、最初のきっかけです。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

楽しい講義には無駄話がつきものです。酒井康弘著作の「はじめての経済学」は、良い意味での無駄話が満載の本です。それでいて経済学の基本的な概念もおさえられている、バランスのとれたおすすめの本です。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

学生時代には楽しく好奇心が擽られる機会が沢山あります。しかしながら、時間的にも金銭的にも制約があります。取捨選択するうえで、常に心掛けていたことは、その機会を経験したのち何を実現させたいのか、あるいは目標をたて、その目標を叶えるには今何を選び身につけておいたほうがいいのか。そして決断した後は、枝葉にも目・耳を傾けるよう心掛けながらも、主要たる目標に向かって邁進しておりました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
住宅地に佇む綺麗なキャンパスという印象を抱きました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
研究です。優先順位を考えながら、いくつもの業務をこなす日常生活のなかで、時間の合間、合間に進める研究は、極上の趣味なのかもしれません。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
基礎ゼミ I です。今まで受講したこともなく、大学生活に未知な学生に、何をテーマに、どのような方法で教えているかを学びたいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
トコトン遊んで、思いっきり勉強してください。そこから失敗と成功を繰り返しながら、自分の限界を感じつつ、自身の得手と不得手を身をもって知ることができます。この「知る」ことの積み重ね、それが自分についての知識になります。ゆくゆくは将来への道が見えてくるきっかけになります。



石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部環境計画学科

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期課程

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程

1. 先生の研究テーマは何ですか？

都市や地域の抱える様々な問題を経済学のアプローチから捉え、検証していくことが私の研究の大きなテーマです。今は医療や介護の地域格差の問題を扱っており、医療や介護の格差について経済学的に計測することを試んでいます。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

私は大学院（博士前期課程）を修了した後、しばらく都道府県や市町村の政策の立案をサポートする仕事に従事していました。そうやって政策立案に携わるうちに「政策を考えるには経済学が重要！」と思い立ち、本格的に勉強を始めました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

宮本輝の本を読みあさった思い出があります。彼は神戸市出身ということもあり、風景の描写が地元っぽくて親近感がありました。大学生の青春を描いた作品としてお薦めなのは「青が散る」「春の夢」など。ちょっと悲しい描写も多いですが…深く心に残る作品です。

4. 先生方の学生時代の過ごし方について教えてください。

1回生の時からソフトテニスサークルに所属していたので、講義の合間や放課後はほぼテニス三昧でした。ただ、2回生後期からは講義が忙しくなったこともあり、たまにサークルに顔を出しながらも、授業以外はほとんど設計

図を書いていたね。あ、たまに友人たちと一緒に有名な建築家が設計した建築を見に行ったりもしました。かなり忙しかったですが、とても充実した4年間だった気がします。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

甲南大学に初めて来たときというか、初めて授業をした時の印象は「甲南大学生はおとなしい！」でしたね。ただ…しばらく経つと、そうでもないということがわかりましたが（笑）

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

学生さんに「この大学に来てよかった」「このゼミに入ってよかった」と言われる瞬間でしょうか。「大学教員としての自分」に対して反省する日々も多々ありますが、その気持ちをほんの少し軽くしてくれるのが、学生さんからの言葉です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

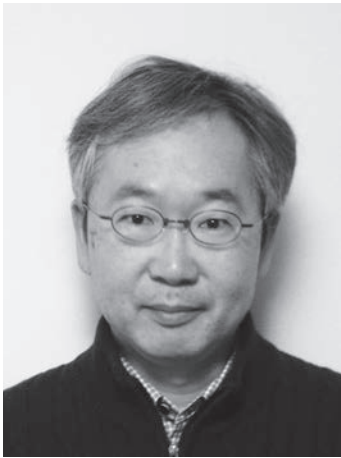
その理由もお願いします。

全員の先生が受け持っている「基礎ゼミⅠ」の授業！先生方がそれぞれご自分のご専門をわかりやすく伝えようと趣向を凝らした講義はぜったい楽しいと思います！！

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学生活では、ぜひ「メリハリをつける」ことを心がけてほしいと思います。

「勉強する時は、勉強する」「遊ぶ時は思いっきり遊ぶ」こんなふうは何事にも全力で取り組むことで、新たな自分を発見することができると思います。みなさんがこの4年間、楽しく充実した学生生活を満喫できますように！！



石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D., Economics, University of California, San Diego.

1. 先生の研究テーマは何ですか？

株価・金利・為替レートといった金融市場データの統計分析。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

学部は経営学部でしたが、経済記事を理解するために経済学の知識もある程度必要かと思ったのがきっかけです。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

ダグラス・ホフスタッターの『ゲーデル、エッシャー、バッハ - あるいは不思議の環』(当時は未訳で、原書を読みました)。衝撃を受けました。世界観変わりました。ひとことで表せない本ですが、映画のマトリックスやインセプションが好きな人におすすめです。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

某中・高・大一貫校に入学以来、受験勉強とは縁がなかったので、勉強は自分の興味とするものという体質になっていました。おかげで、興味を全く持てなかった専攻の経営学の授業は最低限しか出席せず、バイトばかりしていました。好きな英語、数学、経済学は独学でかなり勉強し、結果として、(紆余曲折を経て)証券会社や大学でそれらをフルに使う仕事につけたのですが、大学時代の貴重な4年間の時間を有効活用できなかったことは残念です。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
雰囲気の良いキャンパスだなという印象を受けました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
同じ分野の研究をしている人とディスカッションしているとき。締め切りのある仕事をなんとか終えて、好きな映画を見ているとき。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
経済史関係の授業を、誰が担当かにかかわらずなく、いろいろ受けてみたいで
す。何の歴史であれ、歴史は面白いし、今を考える上でも示唆に富んでいて
重要だと思いますが、私は大学時代もその後も経済史はあまり勉強していな
いので。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
甲南大学の同級生・先輩・教員はもちろんのこと、その範囲を超えて出来る
だけたくさんの人と交流を持ち、いろいろな考え方や生き方にふれてほしい
です。それなしでは、後悔しない大学時代の有効な時間の過ごし方も見えに
くいでしょう。留学も視野を広める効果は絶大だと思います。



市野 泰和 (いちの やすかず)

Ph.D. program, Department of Economics,
University of Washington

1. 先生の研究テーマは何ですか？

国際経済学とミクロ経済学の理論を研究しています。今のテーマは、「自由貿易から得られる利益を、実際にすべての人々に分配することはできるのか。できるとすれば、それはどんなやりかたか」というのと、「市場がうまく機能する、とはどういうことなのか」のふたつです。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

社会科学を学びたいと思っていました。人と人との間に起こるできごとを理解し、説明できるようになりたくて。

3. 学生時代に読んだおススメの本は何ですか？

村上春樹「羊をめぐる冒険」講談社文庫。スタイリッシュで切なくて、しびれました。これまでに読んだどんな小説とも違う～、って思いました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

学部生のときは、演劇部に入っていて、公演前になると、朝から晩までずっと稽古していました。

院生のときは、ずっと勉強してたなあ。毎週金曜日の夜は、同級生で飲みに行っていました。金曜日の夜だけは勉強したらあかんルールやで、って。初夏から秋にかけての土日は、ときどき、ハイキングに行っていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

こぢんまりしているなあ、と思いました。みんな、仲よさそうだなあ、きらきらしてるなあ、って。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

- 授業をしていて、学生が、あ、なんかこれおもしろいかも、という顔をするのを見るとき。
- 研究で、証明の着想が浮かんで、これで証明はできそうだな、という気持ちを心の中で転がしているとき。
- 憂えることが何もなくて、親しい人たちといっしょに食べたり飲んだりしながら、話をしているとき。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

- 寺尾さんの授業ぜんぶ。どの授業でも、自分が今まで考えたことがなかったような、でも、その話は自分で考えついたかったよー、っていう話が、猛スピードで展開されていき、ドキドキするから。
- 歴史・思想ものの授業。自分が今まで感じたことがなかったような形で、経済学は人のことを考えるものなのだというところを感じさせてくれて、わくわくするから。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

たくさんの本を読んでください。みなさんは、いろんなことを経験したい、と思っているかもしれませんが、でも、自分の持っている時間は限られていますから、そんなに多くのことを経験することはできません。いっぽう、本には、他の人の経験や、他の人がその経験から考えたことがコンパクトにまとめて書かれています。本を読むことは、他の人の経験や考えを自分のものとして取り込むことです。



稲田 義久 (いなだ よしひさ)

昭和 51 年 3 月 神戸大学経済学部卒業

昭和 56 年 3 月 神戸大学大学院

経済学研究科博士後期課程単位取得

平成 4 年 12 月 博士(経済学)(神戸大学)

神戸学院大学、立命館大学を経て現在に至る

1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済予測や環境問題の分析です。最近は関西の成長戦略に興味があります。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学を学べば、社会をよりよくするのに役に立つと考えたからです。本気でそう思いました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

例えば、司馬遼太郎の『街道をゆく』シリーズはいかがでしょう。歴史と旅に興味がある人は、本書を読破し、書かれた当時との変化を肌で感じてください。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

中・高一貫の楽しく、精神的に充実した学生生活を送りましたので、大学時代の前半は社会に出た場合どのようなキャリアを選ぶかに頭がいっぱいでした。後半はそのための準備に時間を費やしていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

とてもまぶしい印象を受けました。学生さんはみんな仲が良く、ほんわかした感じでした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

困難だと思われた仕事为解决の方向に向かって動き出した瞬間。山登りで尾根筋を歩いているときに、ちょっと先に頂上が見えた時です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

考えたこともなかったです。ただ多くの経済学部の先生は日頃話しているととても魅力的です。その意味では時間が許せば、すべての経済学部の先生の授業をうけて、自分にないものを吸収したいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

1回生の時は大学が日々の中心となるように心掛けてください。まず講義に出て食堂でランチをとりまた講義に出る生活です。これを繰り返すうちに、多くの友達ができます。様々なタイプの友人作りに心がけてください。例えば、能力ではとてもかなわないが、自己向上には良い友達。発想がよく似ているいろいろなことを議論できるタイプ。卒業を確実にするために必要なタイプ等々。数は少なくともバラエティーに富んだ友人を作ってください。



岩崎 晃 (いわさき あきら)

京都大学大学院経済学研究科博士課程
単位修得・満期退学

1. 先生の研究テーマは何ですか？

日本の企業や産業が直面する問題に関心があります。とりわけ、企業間の競争のあり方や政府の公共政策について、興味があります。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

子供のころから経済には関心がありました。実家で購読していた新聞が日本経済新聞で、子供というものは本当に何でも頭に入るものですね。株式欄の色々な数字を記憶していたものです。学としての経済学を学び始めたのは、大学に入ってから。当時は、資本の自由化がスタートし、経済誌上で侃々諤々の議論が戦わされていました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

「お勧めかどうか、問題あり」ですが、熱心な学生はケインズ『雇用、利子および貨幣の一般理論』とか、『人物評伝』とかを読んでいました。前者は難しかったし、生半可にしか分かりませんでした。勉強している気分になり、誇らしかったですよ。もっとも、当時の経済環境はケインズの想定したようなものではありませんでした。後者は、学者の世界をほんの少し覗かせてくれる窓のようでした。ところで、最近講談社学術文庫に、ケインズの一般理論が『雇用、利子とお金の一般理論』として収録されました。「やわらかく訳するのだなあ」と感心しました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。
自宅から通っていましたので、家の手伝いと大学での勉強、少しの時間を課外活動に充てていました。何人か、とくに親しくなった同級生ができて、夏に遊びに行きました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
小さいキャンパスに、低めの建物がまばらに立っていました。今の1号館の場所に、大教室のある7階建ての教室棟がありました。経済学部の先生方のオフィスは今の9号館のところに3階建ての白い瀟洒な建物がありました。落ち着いた、静かな環境の学校でした。学生数もはるかに少なかったので、混雑感がありませんでした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
いまは、子供時代に帰りつつあります。自分の関心の深いところを、たっぷり時間を掛けてエンジョイしています。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
最近はこの先生方の講義は聴いていないので、何とも言えませんね。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
「鉄は熱いうちに打て」というとおり、みずから自分を鍛えてくださいね。皆さんが大成されることを祈念しています。



上島 康弘 (うえしま やすひろ)

一橋大学経済学部卒業，大阪大学経済学研究科修了。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

労働経済学。経済のしくみのなかで労働条件（給料や労働時間など）がどのように決まるのかを考える分野です。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

学部時代にゼミで読んだ Solow や Tobin, Hahn の論文が面白かったから。論文を読むのと書くのは大ちがいと、のちに知りました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

井上靖^{とんこう}『敦煌』、『楼蘭』、『天平の甕』（新潮文庫）など。ストーリーはもちろん、簡素で美しい文章に感動しました。余談ながら、昨年末に読んだおすすめの本を紹介します。

①マーク・ハットン『夜中に犬に起きた奇妙な事件』（早川書房）

…ミステリーをたのしむとともに、アスペルガーの少年が世界をどう見るのかを知りました。見守る家族の大変さも。

②ハーパー・リー『アラバマ物語』（暮らしの手帖社）

…ユーモアをたのしみながら、たくさんのことを学べる稀有の本。もっと早く読むべきでした（いまごろ読んで恥ずかしい）。

③ジョン・クラカワー『空へ』（文芸春秋）

…エベレスト登山で経験豊かなロブ・ホール隊ですが、登頂した6人のうち生還した人は2人だけ。失敗した理由を考えさせられました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

入学すると少林寺拳法部に入って四国や信州で合宿し、数学と統計学の授業が面白くて1年間休学して勉強したり、大学対抗のゼミ発表会で自作の経済モデルを発表し、海外旅行にも出かけました。思いつくままに好きなことをたのしみました。振り返ると、いちばんの財産は立派な先生と尊敬できる友人に出会えたことで、二番目はやりたいと思う職業を見つけたことです。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

学生が明るく礼儀正しいこと。私の気持ちも明るくなりました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

インゼミの作業で行き詰まると、少数の学生が自己犠牲的に長時間、取り組みはじめて、それに引きずられて全員が団結するようすを見ると。チーム誕生！逆に、献身的に働く学生を尻目に、ただ乗りを決めこむ学生を見ると失望します。個人的には、息子と卓球をするときに、勝っても負けてもニコニコします。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

「簿記」や「会計学」、「商法」や「税法」など実践的な知識を学べる授業。就職したら、学問の境界線など関係ないから。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

- ・(就職のために) 他の人と関わって何かをやり遂げること。部活動やサークル、インターンシップやボランティア、インゼミや留学などを通して。
- ・(自分のために) たくさんの本を読んで、たくさん旅をすること。自分の世界を広げて、civilize your heart.



永廣 顕 (えひろ あきら)

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は1920年代から戦時期にかけて形成されたのではないかという問題関心があり、大学院時代から研究を続けています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

高3の時は法学部志望でしたが、浪人時代に「政治・経済」を勉強していた時に、法学よりも経済学の方が世の中を幅広く見ることができそうで自分には「何となく合っていそうだな」と思ったことです。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

黒井千次『働くということ』講談社現代新書。大学卒業後の進路を考える際に読みました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

大学のオリエンテーリングクラブの活動が生活の中心で、週末になると各地の野山を駆け巡っていました。クラブの有志でチームを組んで駅伝大会にも毎年出場しました。大学1年の学園祭でクラブの仲間と3日間大学に泊まり込んで準備・運営したこともよい思い出です。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
住宅地の中からいきなり校舎が現れて驚きました。小ぢんまりとしたキャンパスだなという印象を持ちました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
思いっきり笑える時。至福の境地ですね。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
誰のどの授業とは特定しませんが、自分の大学時代にはなかった専門科目の授業を受けてみたいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
勉強やクラブ・サークル活動など、「甲南大学」の中で自分の興味、関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！大学の授業は難しいと思いますが、前向きに取り組むことでものの見方が拡がり、必ず自身の成長につながると思います！



岡田 元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士後期課程中退

1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済学の歴史。現在は労働理論・思想の史的展開に関する批判的研究に取り組んでいます。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

当初は文学の道を目指して文学部に進んだのですが、挫折しました。その後の紆余曲折（うよきょくせつ）の中で、何となく経済学史研究の道にたどり着いたわけで、この世界に入る強い動機やきっかけがあったわけではありません。ただ、今では、結果的に自分に合った道に出会えたと、幸運に感謝しています。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

カール・マルクス『資本論』（向坂逸郎訳岩波文庫 全9冊）。おそらく学部学生のみなさんにはきわめて難解な本でしょう。わたしも苦労して読みました。ただ、経済学なるものを学ぶ真の目的は何かと問われた時、その答えはこの本の中にある—経済学の真理がこの本の中で述べられているという意味ではありません—という気持ちを今も持ち続けています。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

学生時代のわたしは心の動揺がはげしく、いつも何かに焦り続けながらも、十分な行動を伴わず、結果的にこの場でみなさんに語れるようなドラマを創り出すことができませんでした。恋愛、旅行、冒険的体験 etc.... 学生時代にもっと経験しておくべきでした。若き日々はかけがえのないものです。みなさんもわたしの

ように後悔せぬよう、今を精一杯生きてください。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

「キャンパスがちっちゃい」というのが、わたしの正直な初印象でした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

かつては趣味に没頭している時でしたが、現在は、「人との志のふれ合いを感じられる時」です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

それぞれの先生の授業に、他にはないそれぞれの良さがあると思います。優劣など簡単につけられるものではありません。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ (Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever)」 (Mohandās KaramchandGāndhī)



奥田 敬 (おくだ たかし)

慶應義塾大学大学院経済学部研究科博士課程単位
取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の研究テーマは何ですか？

「18世紀ナポリ啓蒙」

もう少し具体的にいえば、アダム・スミスから始まる(とされている)のとは違う〈経済学〉の可能性(初心)の探求。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

残念ながら経済学部は第一志望ではありませんでした。それまでは経済学は〈批判〉の対象としか思っていなかったのですが、ある先生が講義中に何気なく呟かれた「経済学も人類の思考の歴史の一コマだよ」という一言に俄然興味を覚えました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

『小林昇経済学史著作集』

M. ウェーバー 『宗教社会学論集』

J. A. シュムペーター 『経済分析の歴史』

F. ヴェントゥーリ 『啓蒙のユートピアと改革』

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

日本語(翻訳)でだけ濫読してはいけないと反省し、いろいろな語学に挑戦しましたが、ほとんど挫折しました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

平成になってもまだ、旧制高校的な教養主義の残り香を感じました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

子どもたちの笑顔を目にするとき。
あるいは、余念なく読書に耽れるとき。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。

「授業」というのは小学生の頃から苦手ですので、回答はご遠慮申し上げます。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

《Es irrt der Mensch, solange er strebt.》(Goethe, *Faust*)
(人間は、努力する限り、迷うものだ。)



春日 教測（かすが のりひろ）

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所
博士課程（産業組織論、経済政策）

1. 先生の研究テーマは何ですか？

産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証することです。テレビや新聞で日常接するニュースで知る内容には、どのような経済合理性があるのか等を考えることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学への興味が先にあったのではなく、高校時代に文系科目に興味があり、また数学も好きでしたので、両方を活かせる分野という観点から探したら経済学に行き当たりました。そんな感じでしたので、最初は胸を張れる学生ではなかったと思いますが、勉強してみると結構面白くハマってしまい現在に至ります。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

中島敦の一連の著作、「山月記」「名人伝」「李陵」等が好きです。内容はご存じの方も多いかと思いますが、特に漢文訓読調の文章が流麗でリズムが良く、朗読 CD も購入して今でも時々聴いています。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

サークル活動やバイトも人並みにしていましたが、大学の講義には結構出ていたと思います。講義に参加するのももちろんですが、生協などで友人と雑談するのも楽しかった記憶があります。最近の大学では学習スペースを自

由に利用させてもらえるので羨ましいですね。みなさんも是非活用するようにしてください。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

非常勤で夏季集中講義を行ったのが最初ですが、当時の勤務校との規模のギャップが印象的でした。1日4〜5コマ講義だったためかなりキツかったのではないかと思います。課題のプレゼンではPPTをうまく使いこなしていた学生が多いと感じました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

お風呂に入っている時と就寝する前、が至福の時です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

同じ科目名の別クラス（例：ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門など）の聴き比べをしてみたいです。経済学はかなり標準化されており誰が教えても基本は同じはずですが、実は説明の仕方や事例の取りあげ方などで微妙な差がでるところもある科目なので、その違いが興味深いのではないかと思います。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒に経済学を勉強していきましょう。



高 龍秀 (こ よんす)

大阪府立大学卒業

大阪市立大学大学院修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

広くみるとアジア経済。その中でもサムスンなど韓国の企業を研究しています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学3年の時に読んだ発展途上国経済に関する本にとっても感動し、本格的に経済の勉強をしようと思いました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

中村尚司『人びとのアジア—民際学の視座から』岩波新書です。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

私は大阪生まれ、大阪育ちの在日韓国人なのですが、大学時代に韓国語や韓国の歴史を勉強するサークルで多くの仲間ができました。4年になって、サークルのリーダー的な役割を担うことになりましたが、うまく運営できず悩んだことがあります。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

甲南大学に来て、学生さんがとても人懐っこく素直な学生が多いと感じています。教員としても居心地がいいので23年間移動することなく甲南にいついています。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

子どもの成長を実感できると、幸せだなあと感じます。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。

2年生対象の「プロジェクトゼミ」。今年だけ「キャリアゼミ⑤⑥」という名称で、寺尾先生と柘植先生が担当です。2人の教員が担当で、課題解決型と課題発見型の新しいグループワークの形式が面白いと思います。また、甲南大学OBの小林製菓の小林会長、モロゾフの山口社長、サントリーの鳥井副社長などの方々が参加して議論できるのもとても刺激になると思います。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

- ・ 大学時代に大切な友達を作りましょう。
- ・ 授業にちゃんと出席し、先生の話をよく聞きましょう。



小林 均（こばやし ひとし）

一橋大学経済学部卒

一橋大学経済学研究科博士課程満期退学

1. 先生の研究テーマは何ですか？

持続可能な社会保障制度と税制

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

小学校時代、野球好きな教師が「後樂園」の「後楽」の真の意味を教えてくれ、（住まいが近く、母親から聞いた「貧乏人は麦を食え」と言った）内閣総理大臣池田勇人が高度成長の所得倍増計画をぶち上げ、高校時代の「政経」の授業で「経済学」の意味を知り、軍人上がりの英語の教師に、公立高校であったためか、「君たちは国民の血税で教育を受けているのであるからして、将来国民に還元すべき」と言われ、そして「経済の状態がよいことが人々の幸せにつながる」とおぼろげながら考えるようになり、商学部にも法学部にも関心がなく、いわんや文学部は眼中になく、理系は遺伝子からして有り得ず、経済学部に進みました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

高校生時代から大学生時代、当時は「岩波新書」を読むことが、ある種のステータスでした。高校生時代、理解したかはともかく①「自由と規律」（岩波新書）②「世界の酒」（岩波新書）③「一日一言」（岩波新書）、すべて高校時代に教師に勧められ目を通したものです。①は永遠のテーマを扱っており、②はグローバルな時代を生き抜く諸君の教養のために、③は、ホイットマンの「草の葉」を知ったきっかけでもあり、その詩は新しい時代を生き抜く諸君に与えるにふさわしい、と考えます。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

「大学紛争」の時代に大学生の生活を送りました。「いかに生きるか」言い換えると「どんな職業に就くか」を考えながら、勉強を行い、本を読みました。2年生の正月に将来（現在の職業）の道を決め、4年の秋の試験に備える勉強とそれまでに「やってみたい」（＝1年間の朝刊・夕刊の新聞配達と2週間のヨーロッパ旅行）ことを同時並行で行いました。「就活」はまったくしていません。無事、試験に合格して、今日があります。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

1998年4月の赴任です。キャンパスがこじんまりして、綺麗、という印象でした。ロースクール、5号館の建物もなく、今よりは、もう少し、ゆったりした感じでした。学生の気質は、基本的には、変わらない、と感じていますが、学力面とモラル面とで、以前が懐かしい、と感じています。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

「何もなく、ボケーツとしているとき」

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

そういった問題意識を持っていません。自己の経験で、現在、講義の先生の言葉で印象に残っているのが、1年次の「商学通論」、3年次の「政治経済学」、興味もあり、内容もあったのが、「経済原論」、「憲法」、「日本経済論」です。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

経済的な特別な理由を除いて、講義期間中アルバイトは週3日まで。一生その時々と与えられた条件の下で文章を書く必要性に迫られるものです。そのためにも本を読むこと、次第に文章は書けるようになるものです。大学生活は短いです。将来の目標を早めに設定し、それに向けて、計画を立て、我慢強く努力すること。人生その繰り返しです。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士課程後期
課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

日本の国際環境協力の実際について調べています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学を学ぶきっかけとなった出来事は、高校3年になって進路選択を考えたとき、「世の中を動かしている一般的な理（ことわり）を学んで、社会に関する洞察力を身につけるには、どの学問を学ぶのが早道か？」という設問を設定し、熟慮した結果、「経済学である」と結論したことです。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

おすすめというより、ぜひ挑戦して欲しい本は、トールキンの『指輪物語』です。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

大学ではサークル「SF研究会」に所属し、SFとファンタジーばかり読んでいました。また、サッカー部で毎日練習に汗を流していました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

学生ファッションが男女ともにとってもインパクトがあり、「ここって本当に大学？」と疑問に思いました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

街中を普通に歩いていて、ふと目に入る穏やかな日常に囲まれているのを自覚するとき、「オレって恵まれているよな」と思います。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

藤田昌久甲南大学教授の授業をぜひ受けてみたいです。藤田先生は空間経済学理論の権威で、地域経済活性化に関しておそらく日本で右に出る者がいないほど事情通の経済学者だからです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

マイペースで行こう！



杉村 芳美 (すぎむら よしみ)

東京大学経済学部卒業
東京大学大学院経済学研究科
理論経済学専攻博士課程
単位取得満期退学

1. 先生の研究テーマは何ですか？
経済体制を、社会の中にある経済という視点から研究しています。
なかでも、歴史や文化の中での労働・仕事についての意識や制度の在り方に
関心があります。
2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？
高校時代に読んだ書物を通して、社会や歴史について知るには経済学を学ぶ
ことが一番確かであるという気持ちを漠然ともちました。
3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？
小説ですが、島崎藤村の『夜明け前』です。日本社会の近代へ向かう大きな
動きが主人公の人生を軸にして描き出されていく展開に心をうたれました。
4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。
1年次のときは、キャンパス内にある学生寮に入っていました。5人の共同
部屋で、上級生をふくめていろいろな地方から来た学生たちと、いっしょに
生活しました。毎日の生活そのものが、サークル活動のようなもので、聞く
こと、することがすべて新鮮で、得難い経験になりました。
5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
さわやかな明るい大学という印象を強く持ちました。学生たちの表情が明る
く、楽しそうに見えました。大学のカラー、甲南のカラーがあるのだという

ことを実感しました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

なんといっても、授業や課外での時間に、学生のみなさんと心が通じ合って話や議論がはずむときです。教員としていちばん幸せを感じる時です。それから、OB・OGのみなさんが訪ねてきてくれたり、便りをくれたときですね。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

寺尾先生と市野先生のジョイント・レクチャーですね。楽しくて、ためになり、経済学のことをよくわかりそうです。時間を合わせて聞きにいければと思っています。それから、経済学部の授業ではないのですが、甲南平生塾も。将来を考えるのによい機会になると思います。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学生活は、人生で2度とない貴重な4年間です。自己を成長させるために充実した過ごし方をしてください。いろいろな考えに触れ、いろいろな世代とも交流をもち、自分の世界を広げてください。できたら、留学にチャレンジしてほしい。アルバイトに取られる時間はほどほどにして、将来のために時間を費やしてください。



柘植 隆宏 (つげ たかひろ)

1976 年生まれ

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

環境経済学です。環境にはお金で測るといくらかの価値があるのか、といったことを研究しています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

これといったきっかけはありません。たまたま経済学部合格のため、経済学を勉強し始めました。後になって環境問題をはじめとした様々な社会問題を考えるうえで経済学が役に立つことに気づき、真剣に勉強するようになりました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

『地球の歩き方』です。いろいろな国に行きたくなりました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

アウトドアサークルの副会長をしていました。
勉強よりもサークル活動に力を入れていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

立地が良くて、キャンパスもきれいで、とても気に入りました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

休日に奥さんと一緒にいるときです。普段は仕事の関係で別々に住んでいるので、貴重な時間です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。

歴史や思想の授業を受けたいです。学生時代には、それらの大切さや面白さに気付くことができず、ほとんど勉強しませんでした。いまはそのことを反省しています。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

いま、みなさんが思っている「自分の適性」や「自分の限界」は、意外とあてになりません。自分自身を正しく理解するためにも、学生時代にいろいろな経験をしてください。



筒井 義郎 (つつい よしろう)

1950 年生まれ。東京教育大学、大阪市立大学卒。
経済学博士。理科の高校教員を経て名古屋市立大学、
大阪大学で金融と行動経済学を教えていました。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

現在のテーマ：行動経済学では、超常現象を信じる人のパフォーマンスをアンケートで調べています。また、値下がり株を持ち続けて損切りができない理由を経済実験で調べています。幸福の経済学では、結婚や出産によって幸福度がどう変化するかを月次アンケートで調査中！それから、何をしていると幸せか、一日の間に幸福感がどう変化するかを論文を書くことをはじめとしていっぱいやっています。金融では、効率的な地方銀行が大きくなる傾向があったかの研究を始めたところです。また、日本と中国の株価の連関について研究しています。その他では、世界各国の経済力格差は広がっているのか縮まっているのかの研究を始めたところです。脈絡もなく手当たり次第に面白いと思ったことをやるのが、私の欠点でもあり、良いところでもあります。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

中学3年生のとき、本屋でたまたま、マルクスの「賃銀・価格および利潤」と「賃労働と資本」を見かけ、すっかりはまりこんでしまいました。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

中学、高校生の時は、世界の名作・大作物を読み漁っていました。大学に入って以降は漫画を除くとほとんど本は読んでいません。「日出処の天子」かな？漫画ですが。それから面白かったのは北方謙三の「水滸伝」。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

最初は物理学科に入りましたが、授業についていくのに、毎日勉強に明け暮れました。重要な科目は、学期が始まるまでに2冊は教科書を読みました。それでも、いくら頑張っても、期末試験に合格せず、追試験でした。経済学部は、高校の先生をしながら夜間に通ったので、せっかく授業に出ても疲れて居眠りばかりしていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

阪神大震災の後、行ってみたのですが、真中に校庭があって、低い建物が並んでいました。高校みたいだなと思ったのですが、今から思うと、本当に付属高校・中学を見て、勘違いしていたのかも知れません。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

ご飯を食べた後ですね。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

平井健介先生の日本植民地政策の授業かな?話題が面白そうだから。

東京教育大学の学生の際は立教大学(物理)や、妻が通っていた早稲田大学の授業(経済)を見に行きました。先生になってからも、医学部や理学部の授業に行っていました(秘密ですが)。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

若いっていいですね。うらやましいです。



寺尾 建（てらお たける）

1968 年生まれ

京都大学経済学部卒業

京都大学大学院経済学研究科修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？
——「日本経済」や「アメリカ経済」, 「中国経済」など“経済の全体”についての問題を考えるために必要となる道具立てを揃えることです. 専門用語を使えば, 「マクロ経済学の理論的な基礎づけ」という言い方になります.
2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？
——高校2年生のとき, 「もしかして, 自分は経済学から呼ばれているのでは?」と思うことがありました.
3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？
——上の質問への回答とも関係しますが, 高校2年生のとき, 広中平祐『学問の発見』を読んで, 経済学を学ぼうと決意しました. 現在では, 広中平祐『生きること学ぶこと』(集英社文庫, 2011年)という文庫本になっています. ぜひ読んでみてください.
4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。
——勉強しませんでした. 彼女とデートしたり, 音楽を聴いたり, 映画を観たり, アルバイトをしたり, 朝まで飲んだり…というようなこともしましたが, 「振り返ったときに『勉強しなかった』となるくらいには勉強しないとね」と思って, 日々を過ごしていました.

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
- キラキラして、まぶしかったです。「ここは、“この世界から消えてなくなっても誰も困らないのです”的な贅沢な感じがあるね」というのが第一印象です。2001年4月2日のことでしたが、いま思えば、新入生で溢れかえるキャンパスの光景を目にしたということなのですが。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
- 「この一言で、笑ってほしいな」と思って自分が言ったことで、相手が笑ってくれたとき。一日1回くらいの頻度であることなのですが、授業中となると、半期に一度あるかないかです（ごめんなさい）。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
- その理由もお願いします。
- 市野泰和先生の担当している、すべての授業。ぼくの知るかぎり、市野先生は、世界で最も素敵で素晴らしい経済学の授業をする先生だからです（ぼくは、市野先生の授業を受けたことがあります。が、いまのところはすべてではないので、すべてを受けてみたいです）。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
- 大学は、「大人になるための学校」です。たくさん読んで、たくさん見て、たくさん聞いて、たくさん食べて、たくさん飲んで（二十歳以降）、たくさん話して、たくさん笑って、ときどき頭をぶつけて、ときどき泣いて、たまにはケンカして（でも必ず仲直りをして）、「自分が子どもでいたことを忘れていない大人」になってください。



中島 清貴 (なかしま きよたか)

大阪大学経済学研究科博士後期課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

最近、銀行と借入企業の相互依存関係の観点から金融システムの安定化と銀行貸出の問題を研究しています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

学部時代は経済学という学問が「大嫌い」で、ドイツ経済史の先生の下で様々な本を乱読していました。大学院は人文系に進もうと考えていたのですが、3回生の終り頃、先生から「メシを食っていけないから人文系に行っちゃダメ」と言われ、「じゃ、どうすればいいんですか!?!」と半ギレ状態で質問したところ、「経済学ならメシが食えるかもしれない」と言われて、「嫌々」やり始めたのがきっかけです。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

高校3年生のゴールデンウィークまで、僕は漫画の本しか読んでことがありませんでした。ゴールデンウィークが終わる頃、本屋で偶然手に取った村上春樹の小説、『世界の終りとハードボイルドワンダーランド』の読了後、「自分の目にしている世界」が変わったような気がしました。同じような経験を求めてその後、様々な本を読み漁りましたが、本を読む量に比例して、高校にあまり行かなくなり、大阪の中之島図書館に行くようになりました。次に、僕に同じような経験を与えてくれた本は、大学生の時に読んだ、安部公房の評論『内なる境界』と『終わりし道の標に』という小説です。この2冊は、

読了後、「もう来るとこまで来たな」という感覚とともに「自分の足で立ってこの世界で生きて行くんだ」という気概を当時の僕に与えてくれた本です。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

大学の職員さんから「きみ友達いないだろ」と言われるぐらいに「さわやかでない」学生生活を送っていました。基本的には、自宅で「仙人」のように本を読み漁り、大学へは「息抜き」のため御飯を食べに行き、夜は「アルバイト」に精を出すという日々を送っていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

とても華やかな大学だと思うと同時に、どこか自分の DNA が「拒否」しているような違和感を有しました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

あまりに日々の睡眠時間が長いので不安になり、インターネットで調べたところ、僕は「ロングスリーパー」であることがわかりました。最近、10時間以上爆睡した後に、惣菜パンを食べながら、エナジードリンクを「ちびちび」飲んでいるときに幸せを感じます。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

経済学の授業はあまり出たくないです。「今の僕」が学生時代に戻れるのなら、「キリスト教神学」にとっても関心があるので、その勉強を基礎から徹底的にやりたいです。神学はとても奥が深いのです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

「たかが大学、されど大学」です。大学に過度な期待をすることなく、かといって何の価値も無いと斜に構えるのでもなく、皆さん1人1人にとっての使い勝手なり価値を見出してください。



林 健太 (はやし けんた)

本山第三小→本山中→報徳学園高→
神戸商科大学商経学部管理科学科→
大阪大学大学院国際公共政策研究科

1. 先生の研究テーマは何ですか？

情報通信経済学、平たく言えば、インターネット関連産業の特徴や、抱える問題点等について、大学院時代からずっと研究してきました。

現在は関心分野が観光産業へとシフトしつつあります。今、興味があるのは、日本へのカジノ導入の可能性や、ICT（情報通信技術）を、どう観光産業と結びつけるかについて調査・研究することです。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

身近な経済学者（父）に薦められて。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

SFが好きなので、田中芳樹氏の小説はよく読みました。

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えて下さい。

友人や先生と喋るために、大学に通っていたようなものです。そして週2日と休暇時は、部活動（マンドリン部）で忙しくしていました。

大学2年の冬休み、成人式の直後に阪神淡路大震災を経験し、1年間、大学に通いたくても通えないという時期を過ごしました。そのこともあって、もう少し大学生生活を送りたいという思いから、大学院への進学を決意しました。今思えば、かなりのギャンブルだったと思いますが、おかげで今の自分があるわけですから、結果オーライでしょう。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
幼少の頃から知っている地元の大学なので、まさかそこに就職できるとは、
という感じでした。ゼミ1期生には、弟と同じ年の人もいたので、不思議な
感じでした。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
ヴィッセル神戸が勝った翌週は穏やかな気持ちで過ごせます。
ラスベガスの空港に降り立った瞬間の高揚感は、何ものにも変え難いものが
あります。
でも今一番幸せを感じるのは、日々子供の成長が見られたときです。妻と子
供には、本当に癒されます。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
「基礎ゼミⅠ」です。
色んな先生の考えを聞けるので
次点で、小山先生の「統計入門」。
学生時代によく理解できなかった割に、仕事上必要なことが多いから、改め
て勉強したいです。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
これから4年間を過ごす上でのアドバイスとしては、「卒業するまでに、で
きるだけ多くの友人・知人を作り、彼らとリアルに喋ること」に尽きます。
大学時代の友人・恩師は一生の宝物であり、かけがえのない財産となります。
学生の間は勿論、社会に出てからも、利害関係無しに相談に乗り、協力して
くれるのは、彼（彼女）らに他なりません。一人でアルバイトや資格の勉強
に精を出すのも良いとは思いますが、サークル活動やゼミ等を通じて一人で
も多くの方と出会い、共に遊び、共に学びながら4年で卒業されることを願
っています。



平井 健介 (ひらい けんすけ)

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程
博士 (経済学)

近代アジア経済史, 日本植民地経済史

1. 先生の研究テーマは何ですか？

日本植民地 (台湾や朝鮮) における経済の展開について研究しています。これらの地域は、日本の政策によって「発展」したと言われていますが、私は、日本の政策に植民地の人々がどのように対応することで「発展」が可能となっていたのか、他のアジア地域の経済は「発展」にどのように関係したのかを分析しています。

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学部と商学部合格し、商学部に進みたいと父親に話したら、「経済学部やないと学費は出さん」と言われたため。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

城山三郎(1975)『鼠』文芸春秋

森村誠一(1983)『悪魔の飽食』角川書店

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

漠然とした質問で、どう答えてよいのか分かりません。1年生の時であれば、週休6日で、定期券すら持っていませんでした。サークル・バイト・麻雀・旅行・読書に明け暮れていたと思います。テストがいつあるかすら知りませんでした。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

こぢんまりして綺麗な大学だと感じた。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

休日に妻と一緒にいるときです。普段は仕事の関係で別々に住んでいるので、貴重な時間です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

授業：経済史以外の講義科目

理由：自分の研究に、様々な経済学の考え方を多く取り入れたいから

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

尚一言すべきは諸君が考ふることなり。

何事をなすにも考ふることなり。

(甲南高校第3周年記念式典で平生鈞三郎が生徒に向かって)



藤本 建夫（ふじもと たてお）

京都大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の研究テーマは何ですか？
目下、平生鈞三郎日記の編集
2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？
大学入学時点では消極的に選んだ経済学でしたが、大学で経済学の魅力を教えてくれた先生に出会えたから。
3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？
下宿生活で、もちろんテレビもなく、ラジオを聴くか本を読むか、でなければ友人と飲みながら雑談するか、そんな生活だったから、様々な友人から仕入れた情報で読書をしていました。今記憶にあるのは、例えば安倍公房などの作品。
4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。
文化系のクラブに所属し、日々3に記したような生活を続けていたが、4年生の時に大学紛争のため状況は一変してしまいました。
5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。
非常に牧歌的で、和やかな雰囲気に充ちていました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？
誰にでも言えることだと思いますが、それは何かの課題を見つけ、それを達成した瞬間でしょう。だからその幸せを感じたいのであれば、まず課題をポジティブに見つけようとする努力が必要だと思います。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。
講義には基礎から応用までそれぞれ特色があります。どの先生もそれぞれ特色を出しながら学生たちの興味をいかに引き出すかを考えながら講義をしていますから、他の先生の講義ならすべて受けてみたい。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。
自分の人生は一度きり。それを生きてゆくには夢をもち、それが実現するように努力し、現実にあふつかって夢が破れれば再び新しい夢を追いかける、そんなリズムが必要です。大学4年間はそんな一生のための実験場になれば、と願っています。



森 剛志（もり たけし）

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了（博士号取得）。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。

主な著書「日本のお金持ち研究」（共著）。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

家計の経済、労働経済、社会保障

2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

これから経済が重要になると思ったから。

3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

川勝平太著「日本文明と近代西洋」（NHK ブックス）

4. 先生の学生時代の過ごし方について教えてください。

私は、学生時代、タイ・マレーシア・シンガポール・インド・ネパール・アメリカなど世界各地を転々と旅行しました。時間とお金があれば旅をしていました。自分探しをしていたのです。その時に見た、美しい夜空。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

綺麗な摂津本山の花屋さん。それと行儀正しい学生さん。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それはどのようなときですか？

うまく授業ができたとき。 目標を共にする人と心がひとつになったとき。

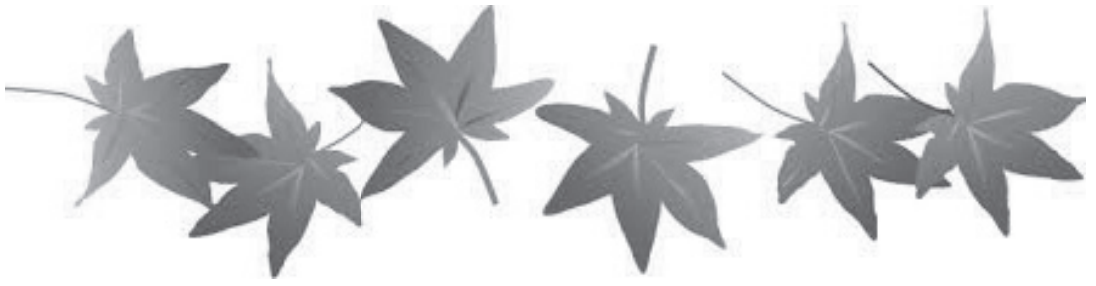
子供とあそぶとき。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。
いろいろ、普段の生活で幸せは数え切れなくあります。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？
その理由もお願いします。

ただいま作成中なので、自分への叱咤激励をこめて：森剛志の「健康経済」。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！
ハングリーであれ！バカであれ！



新入生への メッセージ



「大学に通うという選択」

2013年度卒業

阿萬ゼミナール 安藤貴史

経済学部新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。「学部の先輩から後輩へ」ということでエッセイの依頼を受けました。稚拙な文章ですが最後まで読んでいただけると嬉しいです。

さて、みなさんは今後4年間大学生として生活し、その後社会に出る予定だと思います。4年間で何をすべきか、したいのか、そのような不安や期待をもっていることでしょう。このエッセイではその助けになればと思います。

先日、中学の部活の同窓会がありました。中学卒業以来会ってなかった人もいれば、成人式以来の人もいました。同窓会って楽しいねっていう話ではありません。中にはもうすでに働いている人もいて、中学当時バカなことをしていた人も立派な社会人でした。そんな同級生に感心したという話です。「いろいろ上司に合わせなアカンねん」といって社会の波にもまれている同級生が自分よりも大人びて見えました。

私達は「働く」という選択肢を選ばず「学生」を選んだというのを今一度理解しておいてください。「社会の波」のかわりに「4年間の自由」をもらいました。経済の勉強をする、部活動に専念する、就活に備えて資格をとる、サークルやゼミで旅行に行く。大学4年間でしかできないことを、これでもかと言ってください。そして楽しんでください。「大学生」を選んだからには楽しむことは私達の義務です。

ちなみに私の4年間はずいぶんと楽しい学生生活でした。

2014.1.27



新入生の
みなさんへ





甲南大学経済学会について

経済学会とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。甲南大学経済学部
に入学した皆さんは、同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。**甲南大学経済学会とは専任教員・経済学部学生・大学院学生**で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより良い大学生活を送れるように日々活動しています。

新入生の皆さん、ぜひ大いに活用して下さい。

学生評議員・学生スタッフ

それぞれ役職を決めた、学生評議員と学生スタッフが共同で活動しています。先輩・後輩同士でも気軽に会話ができる、とても和やかな雰囲気です。

定期的に評議員会を開きます。この場では教員評議員・学生評議員が企画内容等について意見を交換します。

主な活動内容

・総会

毎年5月下旬に開かれます。今年度の活動方針・予算・評議員を決めるための大切な会です。みなさんの意見を聞くことが目的の1つであるので、「経済学会会員」は原則出席となっています。

・講演会

前年度は前期に芸術家の大野良平さんを、後期に大学ジャーナリスト石渡嶺司さんをお呼びしました。

・ゼミ紹介（2回生以上対象）

後期から始まるゼミⅠを選択する際の参考になります。参加できなかった人は、コモンルームでビデオを見ることができます。

・社会見学

工場・会社に見学へ行きます。現場に足を運ぶからこそ学べるものがたくさんあります。前年度は「日銀大阪支店」と「小林一三記念館」へ行きました。経済学部生であれば誰でも参加できます。

・経済学部インナーゼミナール大会

ゼミでの研究成果を発表する大会です。甲南大学経済学会で企画・運営する甲南大学経済学会の最大の行事です。

発表は誰でも見ることができます。2回生から本格化する『ゼミ』を知るためにもぜひ参考にして下さい。

経済学会に興味がある、もっと詳しいことが知りたい!!という方は

まずはコモンルームへ！！

5号館5F(5505)へ来てみて下さい。経済学部生専用のポット・電子レンジ・パソコンがあります。

4月は時間割作成に関する質問にもお答えします。コモンルームに在室している評議員・スタッフに気軽に声をかけて下さい。また、HPもご覧下さい。

<http://www.konan-u.ac.jp/~econ/keizaigakkai/>

開室中は常時ドアを開けています。とてもオープンな雰囲気ですので、ぜひ一度経済コモンルームへ!!

経済学会評議員募集！！

経済学会では一回生の新しい評議員を募集しています。

ここでは経済学会会員がよりよい大学生活を過ごすことができるように、会員代表としてさまざまなサポートを行っています。また、数々の行事を開催しています。

評議員に興味がある方、大学に入って何か挑戦してみたい方、何かを企画、運営することが好きな方はぜひ一度気軽に見学にいらしてください。

興味のある方は一度5号館5階にある
経済コモンルームに！

甲 南 大 学 経 済 学 会 会 則

| | |
|-------------------|------------|
| 昭和 35 年 2 月 24 日 | 制定承認 |
| 昭和 41 年 12 月 14 日 | 改正承認 |
| 昭和 44 年 10 月 16 日 | 経済学会集会改正承認 |
| 昭和 49 年 5 月 16 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 昭和 52 年 5 月 18 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 昭和 58 年 5 月 25 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 2 年 5 月 30 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 3 年 5 月 29 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 4 年 5 月 27 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 6 年 5 月 25 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 8 年 5 月 29 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 9 年 5 月 28 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 13 年 5 月 30 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 15 年 5 月 28 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 16 年 5 月 26 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 20 年 5 月 28 日 | 経済学会総会改正承認 |
| 平成 21 年 5 月 27 日 | 経済学会総会改正承認 |

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則とする。甲南大学経済学部の専任教員・学生（EBA 総合コースの学生を除く）・大学院学生・卒業生のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者をもって組織する。会費については以下のとおり。なお、納入した会費は、理由のいかんを問わず返還しない。ただし、学生会員として会費を納めた者で入学を辞退した者についてはこの限りではない。

| | | |
|---------|-----------|----------|
| 教 員 | 年 会 費 | 5,000 円 |
| 学 部 学 生 | 会 費（在学期間） | 20,000 円 |
| 大学院学生 | 会 費（在学期間） | 10,000 円 |

又、卒業学生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

第 3 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会
2. 学術講演会
3. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
4. 学会新聞の発行
5. 研究・教育資料の収集・管理
6. インナーゼミナール大会の開催
7. 専任教員研究書刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 5 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。

第 6 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 7 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第 8 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務を統括するとともに、本会の事業の記録を作成する。
2. 会計委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会新聞等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、研究会、学術講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第 9 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第 10 条 本会の事業とそれにとまなう予算の執行を厳正・公平たらしめるべく、教員 1 名学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。

第 11 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第 12 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。
- 第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会がもたれなければならない。
- 第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。
1. 評議員会が必要と認めたとき
 2. 経済学部教員 2/3 以上の要求があったとき
 3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき
- 第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 1/5 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 2/3 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項

第3条 評議員長は、原則として毎月1回定期評議員会を招集しなければならない。

第4条 評議員長は、次の場合10日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。

1. 評議員長が必要と認めたとき
2. 評議員3名以上が必要と認めたとき
3. 学生会員30名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員30名以上の要求があったとき

第5条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第6条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

卒業生会員細則

〔昭和52年5月18日 経済学会総会制定承認
平成20年5月28日 経済学会総会改正承認〕

第1条 甲南大学経済学部卒業生のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度、現住所を経済学会評議員会に登録し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。登録は卒業2ヵ月前からできるものとする。

第2条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年1月から3月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。

第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。

第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。